

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2018. 5. 21

下水道機構の『新技術情報』 第331号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

我が家の庭のガクアジサイが咲き始めました。ガクアジサイは、中心に小さな蕾のよ
うなものが集まっていて、それが花びらでその外側にガクが大きな花びらのようにつ
いています。昨年は花のつきが悪かったので、花が終わった後、枝を間引きしたのが功を
奏したのか、今年はたくさんの蕾を付けています。ざっと数えたところ25本ほど。満開
が楽しみです。

ちなみに花色は青。アジサイの青色は、土中のアルミニウムが吸収され、色素と結合
して発色し、逆に、アルミニウムが吸収されないと、ピンク色になるそうで、アルミニ
ウムは酸性土壌でよく溶け、アルカリ土壌では溶けません。だから、土を酸性にすれば
青花になり、中性～アルカリ性ではピンク花になると言われているのだそうです。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第331号をお届けします。

業務に、Tea Break にどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・人事異動がありました

■機構の動き

- ・今週は行事はありません

■Tea Break

- ・ミュンヘン（研究第一部 山口さんからの投稿です）

■まる子のゆいまーる

- ・今日はお休みします m()m

■国からの情報

- ・5/18 付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション （最新の話題です）

●人事異動がありました

【4/30 転出】※()内は転出先

研究第一部 研究員 菊川 哲生((株)西原環境)

研究第二部 総括主任研究員 山田 和哉(日本工営(株))

主任研究員 玉江 祥和((株)建設技術研究所)

【5/1 転入】※()内は前職

研究第一部 総括主任研究員 齋藤 篤((株)西原環境)

研究第二部 総括主任研究員 吉田 裕二(日本工営(株))

。○。

機構の動き (機構の行事予定です)

。○。

○行 事：第 371 回技術サロン

日 時：平成 30 年 6 月 14 日(木) 16:00~17:00

場 所：機構 8 階 中会議室

講演者：国立研究開発法人 土木研究所先端材料資源研究センター

材料資源研究グループ 重村上席研究員

テーマ：「下水処理場における地域バイオマスの利活用の現状と

資源・エネルギー利用技術の開発動向」

※参加申し込みはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

。○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○。

●ミュンヘン (研究第一部 山口さんからの投稿です)

WEF/EWA/JSWA 合同会議での研究発表が終わり、ほっと一息つき、本文を書いております。現在、ミュンヘン滞在 3 日目。ミュンヘンの印象は、「旨いビール」、「親切」、「パブリカ丸かじり」といったところでしょうか。電車のホームや街中で困っていると、「May I help you?」と気軽に声をかけてくれ、とても親切な方が多いと感じました。積極的な親切さとも言うべき振る舞いは、見習いたいところです。歩きながらパブリカ、リンゴ、バナナを丸かじりしている方も結構おり、単純にそのビジュアルに驚愕。

喫煙者の皆さまへ朗報です。欧州は喫煙に厳しいイメージがありましたが、ミュンヘンの街中には、至る所にスタンド式の灰皿が置いてありますので、ご安心ください！

まとまりに欠ける駄文、失礼しました。

。○。

まる子のゆいまーる (皆様との交流の場です)

。○。

●今日はお休みします m()m

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション (2018. 5. 18 国からの最新情報です)

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

先週末、近くのスーパーでこしあぶらを見かけました。山菜の女王とよばれるこしあぶら。金沢にいた際、知人に山菜狩りを教えてもらいよく採りに行きました。九州のときは見かけなかったので少し寒い地域でとれるのかもしれませんが (スーパーのものは秋田県産でした)。当時を思い出し買ってかえり天ぷらにしてたべました。ほどよい苦みが魅力のこしあぶら。懐かしくなりました。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○平成 30 年度 (第 11 回)「国土交通大臣賞 (循環のみち下水道賞)」の募集を開始しました!! (下水道企画課)

○下水道革新的技術の実証テーマ等を募集します (下水道企画課)

○「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ」を派遣します! (下水道企画課)

○第 2 回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました! (下水道事業課)

○マンホールカード第 8 弾 登録制による募集のお知らせ (G K P)

=====

○平成 30 年度 (第 11 回)「国土交通大臣賞 (循環のみち下水道賞)」の募集を開始しました!! (下水道企画課)

健全な水循環、資源・エネルギー循環を創出する 21 世紀の下水道のコンセプトである「循環のみち下水道」。

国土交通省では、「循環のみち下水道」の実現に寄与する優れた取組を表彰し広く発信することで、他の多くの団体等での取組につながり、全国的に「循環のみち下水道」が実現することを目指しています。

この機会に皆様が実践されている取組を、全国へ発信してみませんか？

過去に整備されたもので、現在においても顕著な効果を発揮している事例についても審査対象としておりますので、たくさんの積極的なご応募をお待ちしております！！

<応募期間>

5月17日～6月22日

※募集案内等の詳細は、国土交通省ホームページをご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000375.html

※過去の受賞事例等については、以下のURLに掲載しております。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/crd_sewerage_tk_000085.html

○下水道革新的技術の実証テーマ等を募集します（下水道企画課）

国土交通省では、平成31年度以降の、下水道革新的技術の開発・普及を促進するため、実証技術等のテーマ提案を募集しています。

また、昨年度同様、中長期的な技術開発テーマを併せて募集し、政策的な視点を踏まえて、下水道技術ビジョンやロードマップに反映するとともに、今後の実証テーマ等決定の参考とします。

公募①：「H31_B-DASH 実規模実証テーマ」

・直ちに実規模で実証できる段階にある技術

公募②：「H31_B-DASH FS 調査テーマ」

・実規模実証の前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や

技術性能の確認を行う段階にある技術

公募③：「中長期的な技術開発テーマ」

公募期間：5月7日（月）から6月8日（金）まで

その他詳細は国土交通省下水道部ホームページをご確認ください。

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000566.html

○「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ」を派遣します！（下水道企画課）

下水汚泥はバイオガス化・固形燃料化等によりエネルギー利用することが可能ですが、今後の人口減少に伴い生じる下水処理場の余裕能力を活用し、生ゴミや刈草、家畜糞尿等の地域で発生するバイオマスを集約することで、効率的なエネルギー利用が可能となるとともに、地域の資源循環を生み出し、地域の雇用創出も期待されます。

このような取組に関心のある自治体さんが事業を具体化するための検討を支援するた

め、国交省では今年度より「下水道エネルギー拠点化コンシェルジュ事業」を開始しましたので、お知らせいたします。

積極的な活用をご検討いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

★事業内容

(1) 下水道エネルギー拠点化コンシェルジュの派遣【公募中！！】

下水処理場における地域バイオマスの受入を検討している、または検討を開始したい地方公共団体を10団体程度募集します。

選定された地方公共団体に実績を有する地方公共団体職員や国土交通省及び関係省庁職員（環境省・農水省等）等を派遣し、次年度以降の具体的な案件形成に向けた意見交換や助言等を実施します。（簡単なブレインストーミングから、具体的な関係者間協議の進め方まで、各段階の団体からご応募いただいて問題ございません。）

・募集期間：平成30年5月10日（木）～6月11日（月）17：15必着

(2) メール窓口による個別相談

以下のメール窓口において、下水処理場における地域バイオマス受入に関する各種ご質問・ご相談を受け付けます。いただいた質問には、国土交通省及び関係省庁等より回答いたします。

（※地方公共団体が実施主体となる法令手続き等に関するご質問については、当該地方公共団体に直接お問い合わせください。）

・下水道エネルギー拠点化 メール窓口

本業務事務局（三菱総合研究所） gesui_biomass@ml.mri.co.jp

★詳細は、下記国交省記者発表 URL をご参照ください。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000373.html

＝ご不明点は下水道企画課資源利用係まで＝

○第2回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました！（下水道事業課）

国土交通省では、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、防衛省とともに、社会資本のメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰する第2回「インフラメンテナンス大賞」の受賞者を決定しました。

応募総数205件の中から、下水道分野では以下の2件が受賞となりました。

8月9日（木）に各賞の表彰式を各省合同で開催する予定です。

特別賞：株式会社NJS「下水道管路等の閉鎖性空間点検調査用ドローンに係る開発」

優秀賞：東亜グラウト工業株式会社「ヒートライナー工法（小口径下水道管路を補修しながら熱を利用する技術）」

※報道発表資料

http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo03_hh_000190.html

第3回の公募は10月頃を予定しています。積極的なご応募お待ちしております！

○マンホールカード第8弾 登録制による募集のお知らせ（GKP）

GKPでは、好評をいただいているマンホールカードについて第8弾の発行を企画しています。

企画の概要は以下の通りです。

なお、第8弾の発行から従来のカード発行の仕組みを見直し、新たに「登録制」を導入いたします。

これに伴い、登録申請の方法、提出先、問い合わせ先等が変更となりますので、お間違えないようにお願いします。

詳細につきましては、GKPのホームページをご覧ください。

<http://www.gk-p.jp/mhcard-koubo.html>

・第8弾の概要

登録予定カード：70種類程度（予定数を超える申請があった場合は抽選を実施）

発行時期：平成30年8月中旬予定

・登録申請の数

登録申請は、1地方公共団体あたり1種類とします。

（なお、複数の流域下水道を実施している都道府県にあっても1地方公共団体として扱います）

・登録申請期間

平成30年6月4日（月）～6月8日（金）17時厳守

【参考情報】

◆【PPP 新戦略】新たな水コンサル像を追い求める 日水コン、野村喜一社長インタビュー<Web ジャーナル「Mizu Design」>

<https://mizudesignjournal.com/infra/1026.html>

◆Jリーグがやるから僕もやる。下水道展で勉強したマスコットも！<Web ジャーナル「Mizu Design」>

<https://mizudesignjournal.com/news%ef%bc%86topics/1019.html>

◆雨水貯留施設完成 市街地、浸水被害軽減へ [富山市] <5/13 毎日新聞>

<https://mainichi.jp/articles/20180513/ddl/k16/040/141000c>

◆小田急線の線路脇陥没、汚水管の破損が原因 [伊勢原市] <5/14 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/national/20180514-0YT1T50066.html>

◆浄化水で植物栽培 クリーンレイク諏訪 [諏訪市] <5/16 長野日報>

<http://www.nagano-np.co.jp/articles/31834>

◆下水の消化ガスで売電事業、東京センチュリーと月島機械 [埼玉県] <5/16 日経テクノロジーオンライン>

<http://tech.nikkeibp.co.jp/dm/atcl/news/16/051611113/>

◆博多駅一帯で浸水対策訓練 [福岡市] <5/16 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/fukuoka/news/20180515-0YTNT50252.html>

◆知る人ぞ知る“レア”ものマンホールとは… 明石 [明石市] <5/16 神戸新聞NEXT>

<https://kobe-np.co.jp/news/akashi/201805/0011258375.shtml>

◆朝倉氏遺跡 マンホールに [福井市] <5/17 読売新聞>

<http://www.yomiuri.co.jp/local/fukui/news/20180516-0YTNT50261.html>

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>
